



環境省

第5回 負担の少ない調達基準の策定及び調達方法

令和3年3月

環境省 大臣官房 環境経済課



グリーン購入に取り組む上での課題

■ グリーン購入に取り組む上での課題

- グリーン購入法の判断基準や対象品目の範囲の記述が難しい
都道府県・政令市では最も多い要因、区市町村は3～5番目

	① 実際に調達を行う各課部署や関係する部署との調整が難しい	② グリーン購入に対する組織的な意識が低い	③ グリーン購入を実施するための文書作成が負担である	④ グリーン購入実施のための準備を行う人的余裕がない	⑤ グリーン購入法の判断基準や対象品目の範囲の記述が難しい	⑥ グリーン購入関連製品や取り扱い事業者の情報収集が難しい	⑦ グリーン購入関連製品は価格が高い	⑧ グリーン購入を推進した場合の効果が変わりにくい	⑨ 調達がない・ほとんどない
①紙類	4	8	6	6	1	4	2	3	8
②文具類	5	8	6	6	1	3	2	3	8
③オフィス家具等	5	7	7	6	1	3	2	4	9
④画像機器等	5	7	7	6	1	2	3	3	9
⑤電子計算機等	5	8	7	6	1	2	3	4	9
⑥オフィス機器等	5	8	7	6	1	3	2	4	9
⑦携帯電話	4	7	9	6	1	2	4	3	7
⑧家電製品	5	7	8	6	1	2	2	4	8
⑨エアコン等	5	7	7	5	1	2	3	4	9
⑩温水器等	4	8	8	6	1	2	4	3	6
⑪照明	4	7	7	6	1	3	2	4	9
⑫自動車等	4	8	7	6	1	3	2	5	9
⑬消火器	4	7	8	6	1	2	4	3	9
⑭制服・作業服	5	7	7	5	1	2	2	4	9
⑮インテリア・寝装寝具	5	7	7	6	1	2	3	4	7
⑯作業手袋	4	7	8	6	1	3	2	4	9
⑰その他繊維製品	5	7	7	5	1	2	3	4	9
⑱設備	2	9	7	6	1	2	7	4	5
⑲災害備蓄用品	3	7	8	6	1	2	3	3	9
⑳公共工事	2	7	7	4	1	2	5	5	9
㉑役務	3	8	7	6	1	2	4	5	9

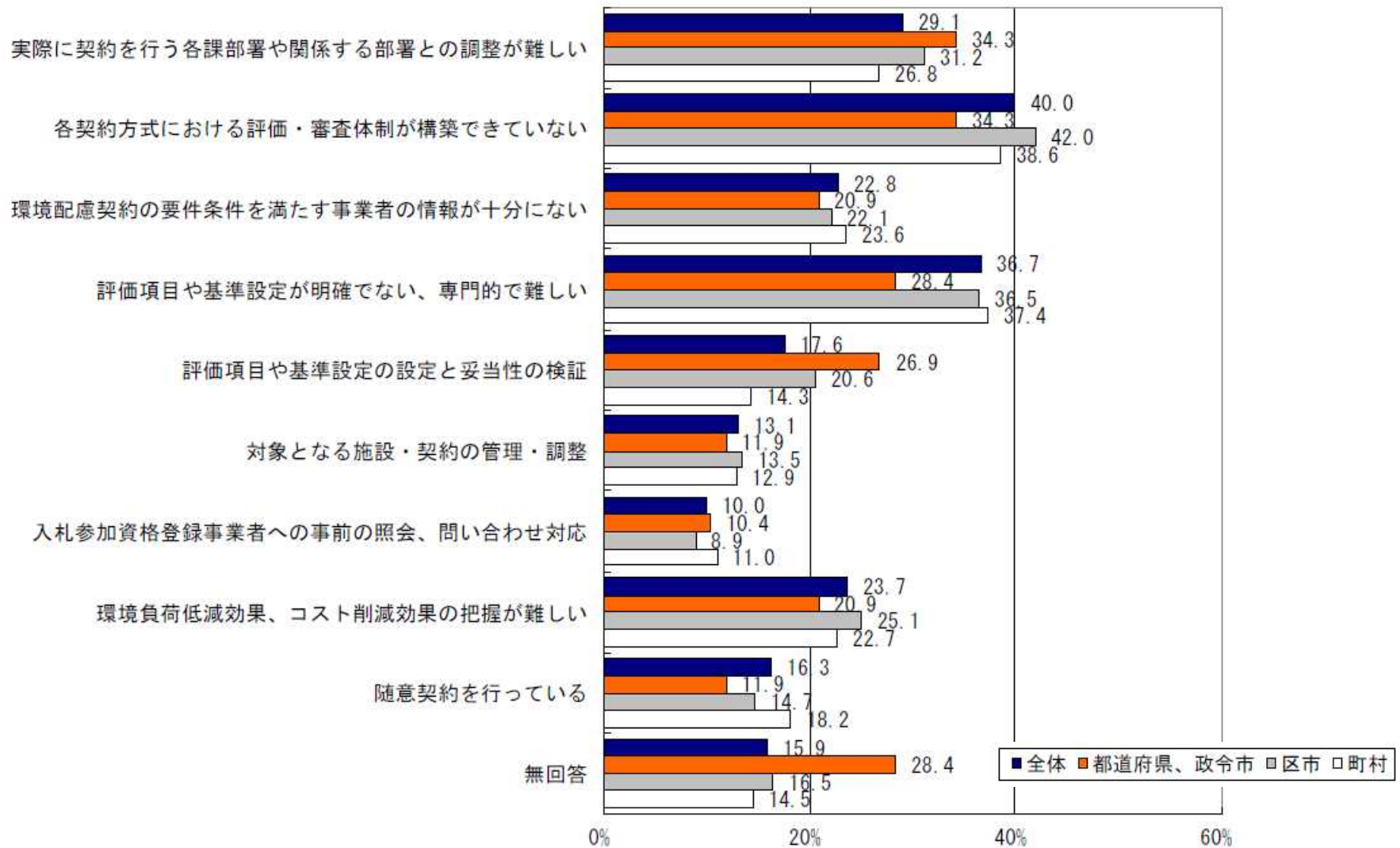
図 グリーン購入を実施できない要因－分野別順位（都道府県・政令市）

	① 実際に調達を行う各課部署や関係する部署との調整が難しい	② グリーン購入に対する組織的な意識が低い	③ グリーン購入を実施するための文書作成が負担である	④ グリーン購入実施のための準備を行う人的余裕がない	⑤ グリーン購入法の判断基準や対象品目の範囲の記述が難しい	⑥ グリーン購入関連製品や取り扱い事業者の情報収集が難しい	⑦ グリーン購入関連製品は価格が高い	⑧ グリーン購入を推進した場合の効果が変わりにくい	⑨ 調達がない・ほとんどない
①紙類	3	8	6	2	5	7	1	4	9
②文具類	1	7	6	2	5	8	3	4	9
③オフィス家具等	1	7	6	2	3	8	4	5	9
④画像機器等	1	6	5	2	3	8	7	4	9
⑤電子計算機等	1	6	5	2	3	8	7	4	9
⑥オフィス機器等	1	7	5	2	3	8	6	4	9
⑦携帯電話	2	7	6	3	4	8	9	5	1
⑧家電製品	1	8	6	2	4	9	7	5	3
⑨エアコン等	1	8	5	2	4	9	6	7	3
⑩温水器等	2	7	5	3	4	8	9	6	1
⑪照明	1	7	6	2	4	8	3	5	9
⑫自動車等	1	7	5	2	4	8	3	6	9
⑬消火器	1	6	5	2	4	9	8	3	7
⑭制服・作業服	1	7	6	2	3	8	5	4	9
⑮インテリア・寝装寝具	2	7	6	3	4	9	8	5	1
⑯作業手袋	1	7	6	2	3	8	5	4	9
⑰その他繊維製品	1	8	6	2	4	9	7	5	3
⑱設備	1	6	5	2	3	8	9	4	7
⑲災害備蓄用品	1	6	5	2	3	7	7	4	9
⑳公共工事	1	7	5	2	3	6	8	4	9
㉑役務	1	7	5	2	3	6	8	4	9

図 グリーン購入を実施できない要因－分野別順位（区市町村）

■ 環境配慮契約に取り組む上での課題

- 「評価項目や基準設定が明確でない、専門的で難しい」全体で2番目に多い課題



- 多くの担当者が理解しやすく、判断しやすい情報として、環境ラベルやグリーン購入法適合表記を活用することが有効。

■4 オフィス家具等

参考となる環境ラベル等

エコマーク



*エコマーク(No.130)認定品は、グリーン購入法に適合しています。

JOIFA グリーンマーク



*JOIFA グリーンマーク製品は、グリーン購入法に適合しています。

出典：グリーン購入の調達者の手引き（環境省）

■5 画像機器等

□ コピー機等、プリンタ等、ファクリミリ、スキャナ

参考となる環境ラベル等

エコマーク



*エコマーク(No.155)認定品は、グリーン購入法に適合しています。

国際エネルギー効率プログラム(エネスタ)



*国際エネルギープログラム画像機器(Ver.3.0)適合機種は、グリーン購入法の消費電力に係る判断の基準を満たしています。(コピー機、リユース機、プロ用機器は、Ver.2.0を適用)

出典：グリーン購入の調達者の手引き（環境省）

指定物品の指定に関する参考資料（案）

分野	品目	調達基準	確認方法（環境ラベル等）		
紙類	コピー用紙	○グリーン購入法における総合評価値が80以上	総合評価値の製品表示 	エコマーク※1 	グリーン購入法適合品※2
	トイレットペーパー、ティッシュペーパー	○再生紙100%	エコマーク 	グリーン購入法適合品 	

出典：グリーン購入導入キット（案）（環境省）

■ 地方公共団体・国等の機関における調達の仕組み

物品・役務の調達

入札による調達

<特徴>

- 一定金額以上の調達
- 仕様書で環境要件を規定
- 仕様書作成者が理解していれば実践できる
- 統括しやすい

入札によらない各課個別の調達

<特徴>

- 小規模の調達
- 仕様書はなく、発注者が自ら環境要件を確認することが必要
- 各課の全ての発注者が理解していることが必要
- 統括しにくい

- 単価契約物品を、グリーン購入調達基準を満たした商品のみにする。
 ➔ 原則としてグリーン購入率は100%となるため、確認が不要となる。

2021年度共用物品見積仕様書

現在、福山市では「福山市グリーン購入方針」を制定し、環境負荷を配慮した物品の調達の推進を図るとともに、購入実績の公表を行っています。

については、共用物品における環境配慮製品の状況把握をしますので、次の点に注意し、ご協力をお願いします。

※参考品及び銘柄指定以外で見積もる場合、「メーカー・品番」、「品質規格」及び「環境対応製品」の確認ができるカタログ等を見積書に必ず添付して提出してください。

※環境配慮製品欄に「◎」がある物品については、グリーン購入法適合品・エコマーク等の環境対応の記載がある商品から選定してください。

※見積書には、必ずメーカー・品番を記入してください。

※「環境対応製品」欄に◎がある物品は、見積書の環境配慮製品欄に必ず「◎」を記入してください。

※「環境対応製品」欄に◎がない品目で「環境対応製品」で見積りされる場合には、見積書に「◎」を記入してください。

※下記の品質規格の色については、同系色を可とします。（ただし、同系色の判断は福山市による）

番号	品名	品質規格	環境対応製品	単位	見込数量
筆記用品類					
8	鉛	筆 リサイクル B・HB	◎	ケース	280
	色鉛	筆 朱/朱藍	◎	ケース	60
	ペンシル替芯	0.5mm 40本入 HB・B・2B リサイクルケース入 1箱10個入	◎	箱	50
9	ボールペン	リサイクル ラバーグリップ 0.7mm 黒・赤 10本入 頭部ロック式解除であること	◎	箱	1,090
	水性ボールペン	リサイクル 耐水性 0.5mm 黒・赤 10本入	◎	箱	250

- 物品購入の入札仕様書に、グリーン購入法適合等の環境要件を盛り込む。
 - ➡ 事業者は仕様書の要件を満たした物品を収めるため、調達基準を満たした物品の調達が容易となる。

ステープル機能	1箇所(手前、奥、斜め1箇所)及び2箇所(並行)が装備可能なこと	
パンチ機能	2穴が装備可能なこと	
ネットワークプリンタ機能	学内ネットワーク(滝沢キャンパス)内の全ての複写機(本調達によるものに限る)に対応するオンデマンドプリント機能を装備すること	
スキャナ機能	装備すること	
メール送信機能	ICカード機能により宛先が自動設定されるスキャン to e-mail機能を装備すること	
インターフェース	イーサネット(100BASE-TX/10BASE-T)に対応可能なこと	
対応プロトコル	TCP/IPに対応可能なこと	
対応OS	Windows Vista、Windows 7に対応可能なこと	
環境対応	国際エネルギースタープログラム、グリーン購入法及びエコマークに適合していること	
台数	9台	17台

出典：某県立大学における複写機調達の仕様書（一部抜粋）

- 調達基準を満たした製品情報のリストを作成したり、製品の環境情報が揃っている情報源（「エコ商品ねっと」、商品カタログ等）を職員に周知し、調達基準を満たした商品にたどり着きやすくする。

➡ 利用する媒体や環境ラベル・表示を指定することで、グリーン購入しやすくする。



写真 通販ウェブサイトでの表示例



グリーン購入ネットワーク（GPN）が運営するエコ商品ねっと

- **グリーン購入は、その団体に適した調達基準で継続的に行うことが重要であり、そのためには効率的に行える仕組みが必要。**
- **効率的にグリーン購入を行うには、消耗品類の単価契約や入札をうまく活用することが有効。**
- **各課が個別に購入する場合も、調達基準を満たした製品情報を確認したり、入手できる媒体やウェブサイト等を紹介したりし、情報にたどり着きやすくする工夫が大切。**
- **調達方針未策定の地方公共団体においては、まずは、製品等情報の確認が容易で実施可能な品目から策定し、徐々に範囲を拡大していくことも一つの手法。**



環境省